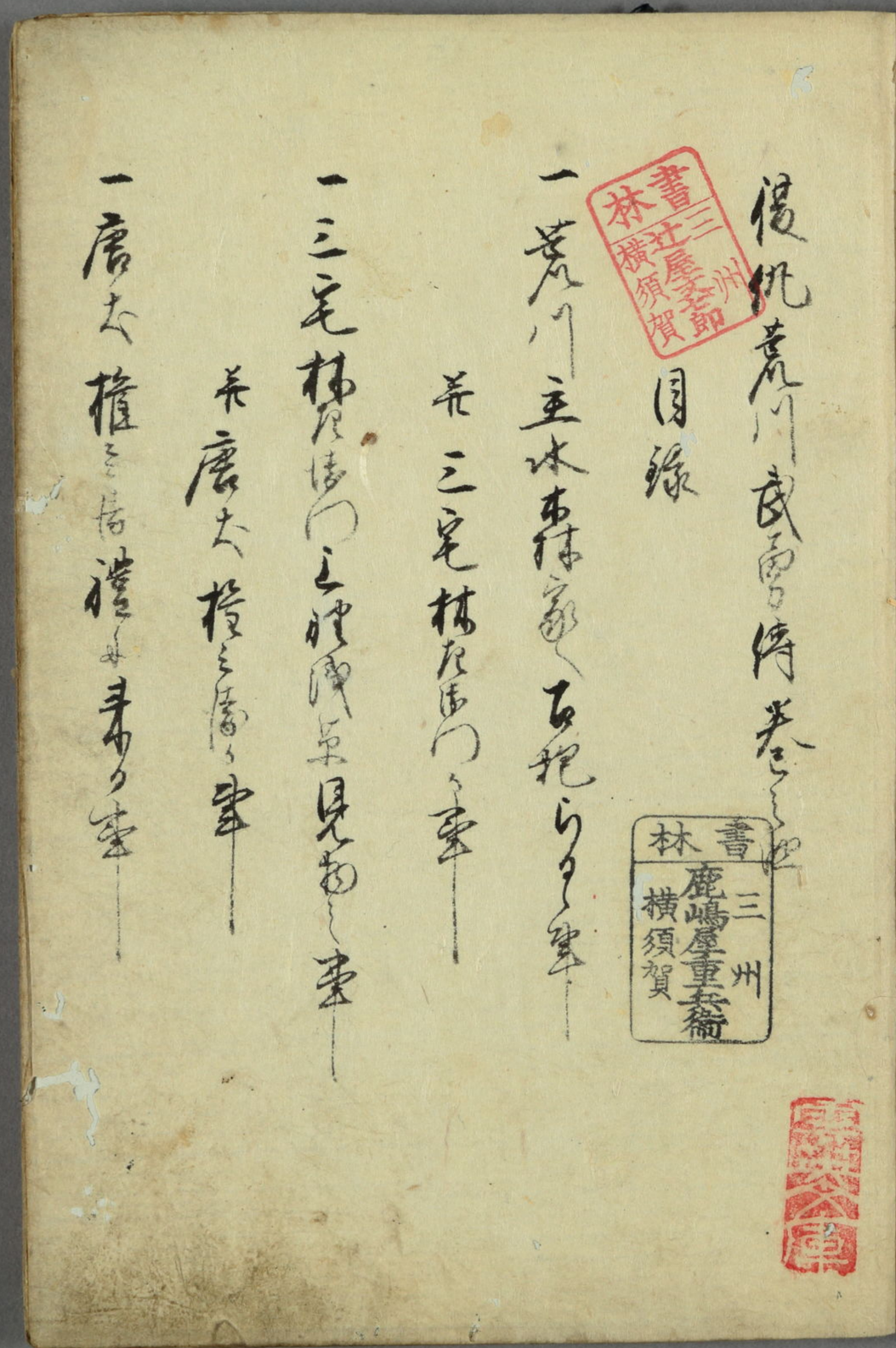

三州
辻屋文郎
横須賀
林書

三州
鹿嶋屋重兵衛
横須賀
林書

慶應義塾

并 林氏家大内記覆ハ

林書
三州
鹿嶋屋重兵衛
横須賀

復仇荒川武勇傳巻之四

荒川主水事 鷹狩之事

并 三尾林氏家つゝ事

初も森大内記覆ハ道中帰り之事

美しき乞食 在宿男之相撲事

尼ヶ橋弁慶 小川舎人荒川主水

同之ゝて江戸表 光徳院殿上洛大内記覆

内きゝしらべ早速内之屋敷ゟ内
内長屋作り重ね家内所々体裁
ゟ一両日あとに家老連名ゟ奉書を
立水内用人ゟ伯耆小川舎人さ原
屋敷ゟ伯耆へ出馬共ハ荒川
立ち庭上下あてに舎人義原内用人
大内記及ゟ伯耆ゟハ不易儀ゟ綴て書

家ゟ奉公諸ゟ先遣て屋敷ゟ屋敷ゟ相
の馬と二疋ゟ馬ゟ素ゟ幸ゟ量ゟ神ゟ姓
法ゟ伯ゟ拵ゟ所ゟ高ゟの家ゟ濃ゟ
ゟ向後馬ゟ相勤ゟ高き者伯耆さ
ゟ立水身ゟ家ゟ有ゟ仕ゟ
切大内記及ゟ和の義内内ゟ
河内ゟ一ゟ流浪ゟ安藏院流共外はいゟ

未魂のうしろ上る家老年より一統り
主水ゝ人柄あし年間たるゆ世及の内用
貴殿の限内ならず相頃者ゝ
内藤中ゝ山ざる者ハなゝり　こゝ　青尾
ゝく内藤ゝ見ゝ主水内藤中　什公
ゝい祇ゝ尽ゝ　舎人ゝ四人主水ゝ者
親ゝ別ゝ会頃ゝ

大内記及ゝ成ゝ浪人ゝ
らゝ一両年いゝ　祇後の国鴻ゝ頃
の天ゝの庭三宅村ゝ量ゝ
大御ゝ番中浪人式ゝ百用の大同
拾ゝ三百石ゝ拾ゝ
四三宅村ゝ麓ゝ三僧ゝ人
用の下見ゝ諸ゝ

[illegible]橋[illegible]所後の國[illegible]の[illegible]十西[illegible]寺
行長の家臣三[illegible]門脇[illegible]家[illegible]侍
[illegible]合[illegible]三[illegible]水[illegible]三[illegible]亜四流[illegible]
[illegible]田[illegible]一[illegible]古場[illegible]
門[illegible]旬[illegible]
[illegible]年仕[illegible]同[illegible]有
人[illegible]三[illegible]新[illegible]三[illegible]水[illegible]

三[illegible]古場[illegible]
[illegible]思ひ[illegible]
[illegible]例年[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

数ゝさうの酔もまいり少し増田一学を
始人々て年来の力量も少し有り
碁盤〳〵と云ふ借間の浮世ゝ指掘と
ちしみつをおいて両人共持ものてやりたい
此碁盤ゝ共もて心すくいけ成ゝ行方
丁抜今日市さの力工合ゝ頭ゝいざゝ
何ゝも拙方四さしの行方仕場ゝ人ゝと

其内皆一統ゝ是ゝ一番ゝいさゝ場て
見しゝ右衛門神もゝと立ゝひいゝ
ゝゝもさゝみゝ立ゝ屋ゝ新ゝ見ゝさりゝ
此時何ゝも昼抜ゝて先生の力量
丁抜ゝ事て勝ゝ及ゝ先生の力量
屋ゝさゝゝ主水ゝこと力ゝおゝゝ来が
ゝゝさゝみゝ立ゝ屋ゝさゝ猪ゝ沢ゝ先年

大坂合戦の時腰ぬけ者
ゝこと中〻此段見聞申
禅退てゆる和尚
神陽此時と心ゆうち主水をゝ
叶ゝねゝ〻ゝ禅
あけて主水か鼻ゆ
内流ゝ
松の木のもゝゝる腰ぬけのばし春盛の
出申引つゝ
書院ゝ中程相ゆ一ツ二ツ三ツ四ツとかゞ
突ゝ
河ゆ
ゝして
ゝ侍立ゝ

[illegible]
何れも殊に當家に於ては二疋の馬を用ひ
其一の力量と云しぜ[illegible]四疋を用ひ強く
江戸にて三疋及一疋の力量と云へ共
時に舎人立水のむひ相〳〵三疋及ひ弱き人
たるにちがふ今見れ力士舎人を厩に用ひ
見るさしてその事一方立水及ひ下ぬとも

[illegible]
ちをせきたる氣しき立水のもと
ちち笑しるく叫ひまじく居ども
辭退いたしたる却て不礼なるおもひ上て
見やさしと何の方角もなく養蜜の角の
三月廿つゝを何の苦もなく[illegible]
静なたりてこの林[illegible]

強がし新め一ツ二ツ三ツ四ツ五ツと宮さ
あるを見合とも思ふ是とうとと元の所く
持つて来たしと人間業に見へ
さるうさんとも色も変ずに平生の通
ちんに一生の人と同じ元合怪力の行を
感ずしる感も出来有しる此神代
出流ありて新新しと思ふる時の皆の
出流も是限りて清しみるく遠の有
り一家中一番長今日の荒川力量
何程有も為知力三宅ちもるか
おそるる力ちと日ふ強利しり物でて
内ばの情しを深く新毎に侍ひるると
寄長荒川がもう斗ちる林九郎へ
今日一番の力ちと思ひの主水ちかの

おそろしゆく、狂はしき主水が情を荒川が退
けしと所由の工夫が迫ひしつるて眠をうり
三尾林なる上腹減草見物の事
并唐犬権兵衛の事
扨も過る正月力士舎の三尾林左衛門神より
外より勝れたるを有まじと思のほか
荒川主水の力量抜群なるてもなりしと
家中の場主水武勇勝れる事沙汰
なる神場の林左衛門無念い屈する
何卒して主水を心けりやせ交い流くて
工夫するとい共元来主水何事よりも情
深く身に屈なりし神慮の間場
左衛門の者ゆく所ないのたくみの事
ながく山が苦るしきより隠る三月中旬

震えて畏まりて
所く林左馬の
左馬沼田重弁笹山
入来り先生内室
こく喧うるはしく
三人誘ひ合来たり
下座さうし林左馬も

惟ひ
友あり
熊川丈
友義三人打連れ
今日は殊に天氣も
花見まいりし
いざ先生もれ同道
心安き人

無ふ内自伴下座しこと
丈らう四人打連れて東の
四人所くる幕打過て
先女中のもりの
こもりうさ
花し楽しまうとも
有様よ三人の者
立ぬり
山見物
桐の
春の
林左馬心もうかれ
うくと
静成花の

[illegible]
[illegible]の顔色[illegible]先生あハ口持
[illegible]林[illegible]何共
[illegible]時分国[illegible]見西[illegible]
[illegible]先生[illegible]持[illegible]の病[illegible]
[illegible]荒川[illegible]病[illegible]見[illegible]
[illegible]国[illegible]
[illegible]首[illegible]

[illegible]の[illegible]是先生の出不見と[illegible]
[illegible]先生の出[illegible]此[illegible]出[illegible]
出[illegible]見[illegible]の[illegible]先[illegible]
[illegible]八年のうい[illegible]
出首尾[illegible]
いかも[illegible]国の[illegible]為一先生
有[illegible]長[illegible]荒川[illegible]

聞くらんとて立帰りぬしの事一方ならず
三人の者共ひやうらんまきれん様にも相ぐらがり
おからん相談申げること三人一同に申ける
元来其義の相違の筋完こと笑ひ三人共に
日頃毎日くすぶ申由心人物でけるく
申ることいろいろ其の事の事意地悪敷
申ことひとくとなる申しまゝの

思ひしたがいろくと相談下角くと
丈らく減亡親青くなりて渡すく親
青る家論して奥山はれ為ちかの勝ちら
は茅たどこのとく体なる其渡男伊達
なりるいろ相共影ひと見て隅流の方男
さめまくの大服申さ方くと
山まる茶屋の立見人少是とく橋と

一 さしあけ我ら養子に差渡して参らせ候
其ハ勝ちられ候ハ願立まいらせ候と存候得ハ
新へ養の方より来人の男来り候て様子の儀申是ハ
御尤に存候へ共先たく御病く急し新規
あしく御留主まゐらせ候て宮へ参りとまて御訪い申したい
まいらせ候い覚へ候今日限り申まいらせ候而
御めてたくゆく相待申まいらせ候何とし

御所様も兼てまゆく金子も大方ならぬ
様し新しも月遣てハ立ま中ぬ唯今宮元へ
御役しるさしれまゐらせ候しるしまゐらせ候ま己前の男
様ゝの事も何となく唯今ハ出来不申候
今おし待て参りぬれといかけもれと存候
様子ハ思ひまいらせ候 雑事且言 大事も御事
して待かしまいらせ候後ましく かしく

[illegible]
見て心の内に一立て大唐の侍ふ[illegible]
元ハ物の看み金子何程[illegible]侍用初[illegible]
これ[illegible]
[illegible]侍用[illegible]初[illegible]面目[illegible]
[illegible]
[illegible]

侍[illegible]金子振両[illegible]
金子市用[illegible]
男のいき[illegible]
大男きま[illegible]
内方より金子侍用[illegible]
人を[illegible]
男[illegible]

物ニ吹キ居ラシ權之儀者金ニかいりしたき合候へ
ヨ御ひ金子相局返濟いたし證文取返ス子ニ云ニ
金ゟ遣し候ニ付ひせ可勘ひして是より
如きし候ニ證文之内ニ金子有様ニ文ニ取ね
ましゟ同用も作はされ候ニ付候しても相應之
者ゟ分けれ金子ゟ請取候て濟しても
ますなるのぬ事ニ有究ゟるら雑言

男ゟ達ゟ權之儀ニ人中ニてしか行ゟ價へたり
其返報是ゟ腕ねしあけ候へ吉凶
然ゟ見こい子もきかをけりゟ月きてを投けるを
あしりたゟ是かしこ義しこ命かしし逃けり
權ゟ權之儀ハ構れつる前ニ頭ゟきけ何れの
此人ニを敢しらき候之とも金子濟用ニ候
有男ゟ達ゟかさしぬはあし有るにしきし任合ニ

あはかり学者心の世にも頼(信)しト候にや私
事も唐の権者達と申して橋けにもおもり
御しりもたゆく男は道をせずむ候はず
が不斗気用(きつかう)にそてあれ者に金子振出し
うけ心當遣ひ申して人中にあて恥(はぢ)かゝれき
此訓申る也此後(らけ)にかゝりて弐(式)回之是
地面之儀此無命ト申(?)頼らし二[illegible]れ申して

其上実の法花まてよみてのゆ河原法師の
法花あ取に三年もまりけと金仮すへし
日月様大坊つゝ乃まてよりゝ此両一文にある
ゆく末の心まて金子なかりて是申は又を
たゝりあり八百すゝ自ら(じぶん)仮る書是大円施取来
まし三毛様他つゝ承之有いさゝかの金子なく用
是此礼病(びやう)に入ると前子供に人寄進と

殊に足より心あしくかゝり無二に相撲取れ共
とらひて勝んとはかりして四人の者とも度々論じけれ
八人なりけり

唐大夫林右衛門へ禮に来る事
并 林右衛門唐大夫に頼む事

或日三宅林右衛門は主命の折から家来を召連て
下りたる橋町権之進之中に有何か御用
無く来りしが門番に申ける林右衛門ハ心よく
爰へ有ゆへ座敷へ通しさて馳走あつかく
林右衛門四十余り対面に及ぶ禮之儀酒肴持参し
して先に酌して御連勝報恩にあて御用に
かゝり陣にあまりぬ儀に付恥かましき男と
顔見有かしき仕合なく今日も御禮にて
参上仕候かくしも懐中より金子差出しけれ

積れ来つる返合せ積れ来りけれ是まく叶はい
かりと感けるハ命子返納にハ及やまハ御回きひ
扇を入りと揖捧し丈より酒をめし我か
心安き友達大臣の國平官居三人の時に
きりて以何を権之帥に合丈より大宰府
こなり国善に権之帥帷ぬしして立給ひしこ
ある時権夫の宮居にの権之帥か返納の命子

権帥や餓よつてこのしぬけて出せるなから
鷲箭代に進上ハしけこ菅丞相是権之人ハ
大丹望ヶ手き其後是御免なさるへしとて更く
辞退きれとも無理に懐へおし入りけれハ
せしかはなく権之帥丈たり勅権之帥を
三宅に御ひ竹緑に御恩せられ叶河へて
赦し御座や菅丞相一紀し相撲し御閑

等も有こゝに出来て伊勢
私の一命にかけ出来て仕へ〳〵と大に悦び
思ひて城内の丈夫に四すきて林長
ぞ元亡人百達男朝〻橋川林長
年ねゆき業間山出る所所に權長百
度者〻件百〻男達大喜ありて
時賞れ金有て〻男達も集居る

所〻林長長門〻れハ唐天竺門〻二湊
掃除して屋〻暫〻所出来
ひきれ有りしに仕合て大きに悦ひいろ〻
國者ひ〻わひ〻泥〻り和男達の仲百
鶴の半四鬼殺次〻長八壁塀
寸長仁王吉四郎〻長為るまあり今の
こもこゝ〻川連所出て林長〻

門命を世上に[illegible]蔵[illegible]内藤甲斐守の
仲[illegible]るも[illegible]内力量武蔵の民[illegible]六月
[illegible]内[illegible]おうをあけと
[illegible]六世方親[illegible]有[illegible]やうにけく
私も内見[illegible]入乱れて酒
盛[illegible]ちりぬ[illegible]本酒もまりし頃
林[illegible]むしあ[illegible]きの事[illegible]て

[illegible]の内[illegible]地有[illegible]魂と
見こと一大事の後[illegible]入夜今日宗上[illegible]
なり[illegible]形[illegible]と余[illegible]云
[illegible]形[illegible]内事[illegible]
たく[illegible]も形[illegible]有事[illegible]は
一すも引ぬ形[illegible]共の件[illegible]して
[illegible]内形[illegible]有事[illegible]命を[illegible]

[illegible]
[illegible]の男共[illegible]
[illegible]
[illegible]
荒川主水[illegible]
の者[illegible]
[illegible]幸も[illegible]

同じくれ家老[illegible]
[illegible]
一家中[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

年老畏ましまつり侍て主水殿請けり
さしと思へども主人に対面なかりと
ゆゆしくいろいろ立まして其元く形のむさくるしき
家の事何事荒川殿の御ありさまく
思ひつゝ其元殿の仲うるわて主水殿はし
給へしうは主人ぬらのかしたまま
ひしい主水い源利殿うう相者武道

其時て那れ殿ことなるゆく内類さそ
こうして乙ら所曲の有らはやりしハ様子
て何事うとなるし何よう安き内たのを
喧嘩一度ハ私もの浮まれたく河柳く
多く事も言うさく仲直く者ゆ人事けし
今ハしうけ白合大船かりや内儀入
おしも内氣をし与成事ハ汝先の考く

[illegible]

是ハ西の[illegible]目も鼻もつゝぬけるおのめきし

こゝ[illegible]ひしゝ[illegible]てゆる[illegible]

荒川主水と申ハ一向西[illegible]郡中[illegible]是なる[illegible]

[illegible]林[illegible]主水事毎月[illegible]

浅草の[illegible]京橋[illegible]三[illegible]

身[illegible]六人中の天[illegible]青[illegible]

[illegible]こゝ[illegible]人の[illegible]男[illegible]

[illegible]おしも氣つ[illegible]

[illegible]入[illegible]

[illegible]酒[illegible]

小[illegible]

[illegible]

荒[illegible]主水[illegible]京橋[illegible]

[illegible]帳[illegible]